



広島県支部会報



平成26年7月19日

第66号 26年度 第1回スキルアップ研修

日時:2014年7月19日13時~16時

会場:広島市総合防災センター

講師:宮永正稔 同センター防災指導員・防災士 専門員

参加:中央地区8名、西地区8名、安佐地区9名、南東部地区8名(計33名)



会場には県内各地区から熱心な防災士が集合。互いに研さんし合う貴重な研修となった(19日、広島市総合防災センター)

本年度第1回の「スキルアップ研修」として、①防災講座②応急処置③避難訓練・消火訓練を実施。県内各地から集った防災士が、講演を聞く形ではなく、それぞれ5グループが互いにリーダー役となって研さんを深める貴重な機会となった。

広島市総合防災センターの宮永防災指導員は、日本防災士会の専門員でもあり、防災士のスキルアップのため懸命に取り組んでいただいた。また今回の研修では、安佐地区の柳迫長三地区幹事を中心に準備をしていただき、実りある研修が開催できたことも併せて報告したい。

山田純一副支部長が開会の挨拶をし、続いて宮永講師による研修が1階講堂で行われた。はじめにDVD「防災まちづくり広島」を視聴し、災害から身を守るために考え、学び、行動する大切さを確認。①防災講座では、クイズで災害に対応する正しい選択について3グループの代表が問題を読み上げ、挙手で参加者に回答を求めた。家庭内で地震があった場合、直ちにテーブルの下に避難し、倒壊物から身を守る必要があるなど、具体的な事例を挙げながら研修が進められた。

同センター2階第1研修室に移動して行われた②応急処置では、心肺蘇生とAEDについて、人体模型で心臓の位置を確認した後、グループごとに研修。応急処置を必要とする人の発見役、119番通報役、AEDを持ってくる役に分かれて進められた。

さらに同会場から屋外へ煙中避難する訓練も。防災士研修ということで通常より多めの煙がもうもうと漂うなかを全員が腰を低くし、煙を吸わないようにしながら屋外に脱出した。

③消火訓練が行われた屋外では、はじめに消火器について学んだ後、グループの代表が消火器で実際に火炎が立ち昇る炎に向けて消火剤を噴射。見事に消し止めると参加者から拍手が送られる一コマもあり、全参加者で記念撮影した。

最後に、釜石の奇跡と呼ばれる群馬大学大学院教授・片田敏孝氏の「避難の3原則」(「想定にとらわれるな」「最善を尽くせ」「率先避難者になれ」)が紹介され、研修を結んだ。



AEDの使用は「勇気を持って」と講師



心肺蘇生にも真剣に取り組んだ



燃え盛る炎へ向け消火剤を噴射



この日、研修に集った防災士のメンバー（講師と共に）